

平成 30 年度 止血・血栓委員会活動報告

委員長：長江 千愛、副委員長：石村 匡崇

委員：小阪 嘉之、河崎 裕英、野上 恵嗣、新小田 雄一、小倉 妙美、金田 眞

1. 小児血友病診療ネットワーク活動

止血血栓異常に関する相談受付、震災の時など薬剤供給の情報共有がこのネットワークを通して速やかに行われてきたが、2017年5月にスパムメールの紛れ込みがあったために一時メールを閉鎖した。詳細を調査後に再開したが、2018年6月に再度同様のトラブルがあり現在も閉鎖中である。解決策を検討したが、SNSによる個人情報漏洩の危険性を危惧し、このまま終了とする予定。

2. 臨床研究など

① 「小児造血幹細胞移植後の aHUS の疫学調査と移植後 TAM におけるエクリズマブ使用状況の調査研究」 昨年の学術学会で結果が報告された。今後、論文投稿予定。

② 「乳幼児重症型血友病に対する定期補充療法に関する前方視的研究」 今年の学術集会で結果を報告する予定。

その他、我が国の小児の血栓症の治療に関する実態調査、ALL の寛解導入療法における血栓症の調査、血友病 B インヒビターの治療実態調査、エミシズマブと ITI の併用に関する調査・研究など、新しい臨床研究を検討中。

3. 他関連学会との連携

第 41 回日本血栓止血学会（2019 年 6 月 20-22 日 三重県総合文化センター 三重大和田英夫教授）にて日本小児血液がん学会と日本血栓止血学会とのジョイントシンポジウムを行う。特発性血栓症 2 題と血友病 2 題程度で、小児血液がん：長江千愛、大賀正一、血栓止血：森下英理子、松本剛史（敬称略）で発表を行う。今後、逆に小児血液がん学会でも止血血栓に関するジョイントを他学会と計画する。

以上

文責：長江千愛